

令和3年（2021年）度事業報告

令和2年、難病法5年の見直しか行われました。難病を発症することでの不安がこれで無くなったということではありません。これからもこの不安を解消するために難病法を注視していきたいと思います。令和3年は、「就労」というキーワードで難病患者の社会参加について様々なところで話されました。滋賀県でも、「難病のつどい」で就労をテーマにして開催し多くの仲間が集まっています。令和4年2月にウクライナ・ロシアの間で戦争が始まりました。このことは、人の命の大切さや民主的な行動を訴えていると思います。早期に収束することを祈ります。

こうした中で令和4年（2022年）が始まります。昨年度を顧みていただき、令和4年もさらに難病患者が安心して地域で暮らしていくように、みなさんとともに「一人ぼっちの患者をなくそう」をテーマに進んでいきたいと思います。

I 難病連の組織強化

1 加盟団体の育成と相互協力、会員・賛助会員の拡大に努めました。

「ひとりぼっちの患者をなくそう」をスローガンに会員、賛助会員の拡大に努めましたが、既存の患者会は、会員数増加などに見られませんでした。また、コロナ禍の状況が昨年度も同様であり、対面での活動は制限されましたが、ウェブ会議での活動は促進されました。

2 安定した組織の運営に努めました。

難病連が設置運営するしかなんれん作業所、滋賀県難病相談支援センターを含め、難病連としての組織運営を行うための事務局を置き安定した組織運営ができるようにしました。また、協議会の設置目的が達成できるよう4つの委員会活動（総務委員会、財政強化委員会、啓発・広報委員会、事業委員会）を実施しました。

コロナ禍の中、コロナ感染症対策を施し滋賀県の「コロナとのつきあい方滋賀プラン」に基づき活動し感染予防を行いながらの活動を実施しました。

3 入れ歯リサイクル事業、難病・慢性疾患患者支援自動販売機および天然水サーバーの設置事業、イエローレシートキャンペーンの拡大は活動資金の多くを占めている事業であり、機関誌によるPRを行うと同時に定着した活動になるように努めました。

4 故大島晃司さんから遺贈金をいただきました。「大島晃司基金」として難病患者に役立つようにしなければなりません。

II 相談支援受託事業（滋賀県難病相談支援センター）

難病にかかる不安、医療情報、仲間、制度などに係る相談支援を滋賀県から受託して実施しました。

1 利用状況

令和3年（2021年）4月1日～令和4年（2022年）3月31日 【総利用者数 合計 1,966人】

・相談件数（人数） 275件（154人）

（内訳：面談 30件 26人、電話等 198件、メール等 5件、その他 42件）

・問い合わせ件数 754件（内訳：来所 57件、電話等 697件）

・講演・交流会 195人（難病相談支援センター会場38人・6月実施Web開催うち1回ハイブリッド）157人

・ホッとサロン、土曜日開所、研修室等 627人

（ホッとサロン48人、交流会第一土曜日579人）

・その他利用 115人（談話室・研修室などの利用者数）

2 各種相談支援

①所内相談

・電話相談：10時から16時まで

・面接相談：10時から16時まで

・内容：電話・メール・面接による療養、日常生活、就労等の相談、支援を行う。

第1土曜日 13時30分～16時（祝祭日・年末年始は閉館）

②出張相談

例年、保健所の特定医療費受給者証の更新に併せて実施していたが、令和2年度から保健所での更新はされていないので、出張相談は実施していない。令和4年度以降も更新受付は県への郵送受付となる。

3 医療講演会および交流会

①センター主催で3回開催しました。

福祉制度手当に関する情報講演会・難病コミュニケーション支援講座はウェブ配信、難治性肝胆道疾患に関する講演会は対面とウェブ配信で開催しました。

②患者会共催で4回開催しました。

おおみは難病相談支援センターを会場に対面による医療講演会を開催、膠原病とALSはウェブ配信による講演会、リウマチ友の会はハイブリット形式でウェブ配信と会場の併用で講演会を開催しました。

4 就労支援

①所内就労相談

平成27年(2015年)9月から、「難病患者就労相談日」を毎週金曜に設定しています。毎月奇数週はハローワーク大津難病患者就職サポートと共に相談を受けています。

②難病患者のための就労・生活支援セミナー

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

5 ホッとサロン

難病患者や家族の仲間づくりなど社会参加の促進につながるよう、気軽に集える場を設けました。また、参加しやすいように各保健所でも開催しました。また、コロナ禍でも自宅から参加できるようにウェブ(Zoom)によるホッとサロンをお試しで1月に開催しました。

- ・開催場所：センター1回、3保健所4回（5回は新型コロナウイルス感染症のため中止）計10回
- ・開催内容：患者会でのコミュニケーション等で療養生活の向上及び社会参加の促進につなげている。

6 難病支援ボランティア養成講座

難病患者や家族支援を必要とする方々が、住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援するために、疾患理解や生活上の支障等の理解を深める養成講座を開催しています。令和2年度は高島保健所より要望があり開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡散防止のため中止しました。令和3年度につきましても、コロナ感染症や「ひまわりの会」高島保健所管内難病患者家族の会の活動休止状態もあり、開催をみあわせています。

7 ピア・サポート

- ・ピア・サポートの登録制に変更して7年目になります。登録者17名が相談を行い、件数は電話相談が16件、面接相談が3件、メール0件でした。
- ・ピア・サポートと新たにピアサポートに興味を持っている方を対象に、ピア・サポートの基礎と応用を学びピア・サポート技術の強化と新たなサポートの養成を行い、ピア・サポート事業に役立たせる目的に研修会を毎年実施していましたが、新型コロナウイルス感染症拡散防止の意味もあり中止が2年継続しています。ピア・サポートには近況確認やアンケート調査・難病支援ピア・サポート養成講座テキストの送付等を行っています。

8 在宅難病患者意思伝達装置貸出

在宅療養に必要な意思伝達装置などの貸出を行い、個々の状況に合った機器を選定、操作を習得していただき、療養生活の質やコミュニケーションが向上することを支援します。県担当者会議でデモンストレーションを行うことで利用者が増えています。

・伝の心 実10台 延11台

(大津市保健所4件、彦根保健所1件、草津保健所3件、東近江保健所1件、高島保健所 実1件 延2件)

・ペチャラ 4台 (大津市保健所1件、彦根保健所1件、草津保健所1件、東近江保健所1件)

9 日常生活用具の展示

生活のしづらさを軽減し、自立した生活が送れるように、自助具作成ボランティアが作成した自助具の展示を行い、必要に応じて支援員による相談対応を行います。

10 センターだより

- ・29号を10月、30号を2月に発行しました。
- ・29号は、令和3年度滋賀県難病相談支援センターの状況、医療講演会の実施状況、災害対応ノート、談話室リニューアル等
- ・30号は、難病患者就労体験、ホッとサロン開催状況、医療講演会の実施例状況、指定難病追加、特定医療費（指定難病）受給者証の更新

1.1 滋賀県難病相談支援センター運営委員会の開催

平成28年（2016年）度より、難病相談支援センター事業の円滑な運営と事業内容の充実・強化を図るため、運営委員会が設置されました。医療関係、社会福祉関係、職業関係、当事者、学識経験者、行政関係からなる14名の委員により活発な議論が行われました。

令和3年（2021年）11月5日（金） 支援センターの実績報告と事業の課題について検討。

III 調査研究啓発事業

1 難病のつどいの開催

令和2年度はコロナ禍の中、中止でしたが、令和3年度は滋賀県と協働して難病のつどいを10月31日に立命館大学・サービスラーニングセンターの協力あってウェブ開催できました。難病患者で就労されている2名の方がパネラーとして参加されました。参加人数は、患者・家族だけでなく多方面の方々76名になりました。

2 世界稀少・難治性疾患の日（RDD）イベント

コロナ感染症対策を行い少人数でのRDDのイベントを開催しました。

日 時：2月27日（日） 13:00～15:30

会 場：滋賀県難病相談支援センター

各患者さんからいただいたメッセージ・俳句・イラストや写真を大きな紙に貼り、その後、交流会を行いました。当日は15名の参加者と39名の“声”が集まりました。

3 各種会議に参加等

難病法制定以降難病対策の推進に関する理解が高まり、会議への出席依頼要請が増加しています。滋賀県難病対策推進会議をはじめ滋賀県が主催する会議や滋賀県難病医療連携協議会運営会議、各市主催の会議、難病法に基づいて保健所管域ごとに設置された「難病対策推進地域協議会」に会員が参加して患者の声を直接伝えました。

1) 地域難病対策地域協議会への参加について

・大津圏域	中 止	・湖南圏域	中 止
・甲賀圏域	中 止	・東近江圏域	令和3年11月17日（水）に開催
・湖東圏域	中 止	・湖北圏域	中 止
・高島圏域	中 止		

2) 出席要請会議について

- ・滋賀県医療審議会
- ・滋賀県在宅医療等推進協議会
- ・滋賀県難病対策推進協議会
- ・滋賀県災害時要配慮者支援ネットワーク会議
- ・滋賀県障害者施策推進協議会
- ・滋賀県障害者差別のない共生社会づくり委員会
- ・滋賀県ユニバーサルデザイン推進検討専門分科会
- ・滋賀県身体障害者福祉協会理事会
- ・滋賀県身体障害者社会参加推進協議会
- ・滋賀県難病医療連携協議会
- ・滋賀県リハビリテーション協議会
- ・滋賀県防災と保健・福祉の連携モデル構築のための意見交換会
- ・草津市自立支援協会
- ・近江八幡市障がい児者地域自立支援協議会

4 高齢難病患者への取組

高齢障害患者で身体等に障害がある場合は、障害者総合支援法に基づいて市町の障害福祉サービスが受けられていたものが、65歳になって介護保険優先の考え方から、今まで受けられていた支援が市町によって受けられないという実態があります。厚生労働省の通達に「柔軟な対応」とあることを踏まえ、県や市町に対して他の障害者団体と連携して働きかけました。

5 災害対応への取り組み

令和3年5月10日、頻発する自然災害に対応して、災害時における円滑かつ迅速な避難の確保及び災害対策の実施体制の強化を図るために災害対策基本法が交付されました。その後滋賀県防災危機管理局開催の研修に参加するなどして意見交換・機関誌にて広報しました。「防災と保健・福祉の連携促進モデル『滋賀モデル』」の理解と実践が必要です。

6 会員等への情報発信を行いました

昨年度は、リニュアルした滋賀難連ホームページをWEBにアップしました。ご活用ください。機関誌「しかなんれん」も、例年通り年3回の発行を発行ができました。これからも、難病連会員および賛助会員そして多くの方に難病を啓発できるようにしました。

IV 障害福祉サービス事業（しかなんれん作業所）

指定障害福祉サービス事業所として、生活介護と就労継続支援B型事業を実施して5年が経過しました。障害や難病を抱えながらも『何かで社会参加したい、何かで役に立ちたい』という願いに応えるために、関係者団体と共に・連携しながら活動を進めてきました。また病名が同じでも症状が一人一人異なるために、疲労・病状悪化やストレスなど体調への影響などを常に考えながら過度にならないように実践や活動を進めてきました。今後も保健所や病院の地域連携室などにパンフレットを設置して周知を行ないました。

県からの指導で令和4年度から義務化される障害者虐待防止についての対応として「障害者虐待防止委員会」を設置し、委員会も設置しました。

また、しかなんれん作業所をめぐる社会的な環境も変わってきてています。こうした中、社会のニーズにマッチしたしかなんれん作業所についての計画を考える必要があります。

コロナウイルス感染症対策・利用者のクールダウン用スペースの確保・三密を避けることを目的にして、3部屋で活動しています。コロナ関連の助成制度も使っています。今後、利用者数やコロナ感染症の状況などで昨年増やした一室をどうするのか検討する必要があります

作業所運営委員会の開催(年1回)・・利用者と家族が参加しています。

職員会議(毎月1回)

授産会議(毎月1回)

1. 生活介護事業について

利用者の状況(利用定員 8名、利用者 10名)

疾 病 別: 多発性硬化症、ミトコンドリア病、知的障害、パーキンソン症候群、広汎性発達障害、総合失調症、
ウイルソン病

地 域 別: 草津市4名、守山市1名、野市1名、栗東市4名

1) 受託作業について

- ワークロード(紙クッショングルメ)
- 生協ステーション(生協商品の仕分け・受け渡し)
- サワムラ
- フエム(ポスティング)
- 駐前駐車場掃除
- 車の掃除

2) 療育について

- 散歩・ストレッチ体操・ラジオ体操・脳トレ・カードゲーム等個々に確認しながらおこないました。

3) 社会参加について

- イベント、バザーは新型コロナウイルス感染防止のために中止となりました。

4) 利用者の賃金

- 1ヶ月 20日以上皆勤500円、1日単価50円(午前)1ヶ月平均695円でした。
- 年1回 賞与支給 出勤日数により算出平均 4,871円になりました。

5) 行事、活動(コロナウイルス感染防止を配慮しながら活動をおこないました。

令和3年(2021年)	6月 8日	美味しいものを食べよう(作業所にて)
	7月 23日	茶話会(作業所にて)
	10月 6日	連山さん作品鑑賞(守山市民ホール)
	10月 27日	ハロウィンパーティ(作業所にて)
	12月 27日	山本ナース演奏会(作業所にて)
	12月 29日	お楽しみ会(作業所にて)
令和4年(2022年)	1月 7日	連山さん作品鑑賞(守山市民ホール)
	1月 8日	魔法の美術館鑑賞(佐川美術館)
	3月 28日	年度末お疲れ様会 B型(作業所)
	3月 28日	年度末お疲れ様会 生活介護(作業所)

6) 職員体制

・施設長 常勤(兼任)	1名	・サービス管理責任者(兼任)	1名
・生活支援員(常勤)	1名	・生活介護支援員(パート)	3名(2名B型と兼任)
・看護師	1名		

2. 就労継続支援B型事業について

利用者の状況 利用定員 12名、利用者 6名

疾 病 別 クローン病、ファロー四徴症、精神疾患広汎性発達障害

地 域 別 大津市 1名、草津市 2名、野洲市 1名、栗東市 2名

1) 以下のような受託作業がありました

- ・連合滋賀(チラシ折り、ティッシュへ挟み込み、配達)
- ・岡安ゴム(パリ取り)
- ・株式会社ヒロノ技研(スペーサー清掃)
- ・リビング(ポスティング)
- ・株式会社近商物産(サンタブーツ組み立て)
- ・フエム(ポスティング)
- ・駅前駐車場掃除

2) 社会参加について

- ・イベント、バザーは新型コロナウイルス感染防止のために中止となりました。

3) 利用者の賃金について

- ・1ヶ月 20日以上皆勤 500円
- ・1日単価 200円 1ヶ月平均 3,918円 ボーナス含む平均 6,421円
- ・年2回賞与支給 出勤日数により算出 平均 25,750円

4) 行事、活動(新型コロナ感染防止を配慮し活動を行い、生活介護の仲間とも内容同じく行いました。

5) 職員体制

施設長 常勤(兼任)	1人	サービス管理責任者(兼任)	1人
職業指導員	1人(会計兼任)	生活支援員(常勤)	1人
生活支援員(生活介護兼任)	1人		

V その他

1. 県への要望(2022年度社会福祉施策に対する要望書)

昨年度の県への要望書の提出は、コロナ禍の中、滋賀県の担当課に理事長と副理事長2人で提出するなど最低人数での提出となりました。来年度も、今年度変わりなく難病患者に必要な施策について要望を提出します

2. 滋賀県難病対策推進議員連盟

昨年度もコロナ禍の中、滋賀県難病対策推進協議会のみなさんとの意見交換が少ししかできませんでした。今年はもっと難病対策を推進するため、意見交換会等の連携をすすめていきます。

3. 国会請願署名活動(難病・長期慢性疾患・小児慢性特定疾患対策の総合的な推進を求める請願書)

JPA加盟団体として、国に対する難病・長期慢性疾患・小児慢性特定疾患対策の総合的な推進を求める請願署名活動に取り組みました。

期間中、筆数 4,101筆・募金 36,000円の実績がありました。また、令和4年5月に国会へ請願するときの紹介議員としましては、徳永久議員・斎藤アレックス議員(衆議院) 嘉田由紀子議員(参議院)の3名の議員からのお力添えをいただきました。

4. 勉強会

2022年2月19日(土)滋賀県難病相談支援センターにて「難病と生活習慣病に予防について!~腸内環境を整える~」と題して勉強会を開催しました。参加者は講師:2名 患者:15名 一般:2名 合計19名でした。

5. 各種障害者啓発イベントへの参加

「滋賀県障害者週間」への参加は12月3日（金）から7日（火）の日程でイオンモール草津で開催されました。展示コーナーに出品し「難病」についての啓発を行いました。

6. 新型コロナウイルス感染症対策について

滋賀県等と連携した新型コロナ感染症対策を行い、このコロナ禍の中でできる活動を考えました。その結果、WEB会議などの活動が、まだまだ不慣れですができるようになりました。

7. 法人運営

1) 会員数

賛助会員数

2) 第38回通常総会に開催

令和3年（2021年）6月6日（日）

滋賀県難病相談支援センター 研修室

3) 理事会等の開催

・理事・監事会 8回 (5/15 6/6 8/21 10/16 12/18 2/19 3/20 3/26)

・三役会 7回 (4/20 5/25 7/2 8/3 10/4 12/6 1/17)

・各委員会 総務委員会 6回・財政強化委員会 1回・啓発広報委員会 5回

・難病支援センター（事業委員会）

支援センター運営委員会 1回 (1/1/5)

支援センター職員会議 13回 (4/1 4/15 5/20 6/17 7/21 8/19 9/16 10/28
11/11 12/16 1/20 2/17 3/17)

・しかなんれん作業所（事業委員会）

作業所運営委員会

作業所職員会議

・JPA総会 書面参加

・国会請願書名街頭活動 中止

・JPA近畿ブロック交流会 京都喫茶連主催 1/6 ウェブ開催 6名参加

令和3年(2021年)度 活動計算書

令和3年(2021年)4月1日から令和4年(2022年)3月31日まで

特定非営利活動法人 滋賀県難病連絡協議会

(単位:円)

科 目	決算額	予算額	増減
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	154,400	157,000	△ 2,600
賛助会員受取会費	89,000	110,000	△ 21,000
2 受取寄付金			
一般受取寄付金	190,029	120,000	70,029
講演募金受取寄付金	9,300	8,000	1,300
自販機等受取寄付金	961,325	930,000	31,325
入れ歯リサイクル受取寄付金	300,201	300,000	201
3 受取助成金等			
受取国庫補助金	15,000	0	15,000
受取自治体補助金	152,873	103,000	49,873
受取民間助成金	50,000	15,000	35,000
4 事業収益			
相談支援受託事業	10,191,027	11,150,000	△ 958,973
障害者福祉サービス事業	19,014,829	18,070,000	944,829
(1)生活介護就労支援B型事業	18,097,088	17,300,000	797,088
(2)生産活動事業	917,741	770,000	147,741
5 その他			
受取利息	388	1,000	△ 612
雑収益	528,296	781,000	△ 252,704
経常収益 計	31,656,668	31,745,000	△ 88,332
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
給料手当	17,318,613	18,689,000	△ 1,370,387
法定福利費	1,413,406	1,223,000	190,406
通勤費	1,673,583	744,000	929,583
福利厚生費	29,710	67,000	△ 37,290
人件費 計	20,435,312	20,723,000	△ 287,688
(2)その他経費			
材料仕入	131,486	50,000	81,486
利用者賃金	714,280	720,000	△ 5,720
諸謝金	408,285	888,000	△ 479,715
旅費交通費	134,606	252,000	△ 117,394
通信運搬費	280,117	486,000	△ 205,883
印刷製本費	260,425	386,000	△ 125,575
消耗品費	1,006,839	161,000	845,839
修繕費	13,200	50,000	△ 36,800
水道光熱費	237,766	180,000	57,766
車両費	1,048,529	1,200,000	△ 151,471
地代家賃	2,325,240	2,360,000	△ 34,760
使用料賃借料	1,920,889	2,201,000	△ 280,111
保険料	132,210	129,000	3,210
支払手数料	7,852	19,000	△ 11,148
諸会費	103,000	93,000	10,000
支払負担金	0	31,000	△ 31,000
支払助成金	0	14,000	△ 14,000
減価償却費	253,435	0	253,435
雑費	55,882	30,000	25,882
租税公課	0	3,000	△ 3,000
その他経費 計	9,034,041	9,253,000	△ 218,959
事業費 計	29,469,353	29,976,000	△ 506,647

2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	991,159	850,000	141,159
通勤費	80,640	75,000	5,640
人件費 計	1,071,799	925,000	146,799
(2) その他経費			
諸謝金	198,000	198,000	0
旅費交通費	174,475	110,000	64,475
通信運搬費	133,272	125,000	8,272
消耗品費	4,785	15,000	△ 10,215
修繕費	44,154	40,000	4,154
水道光熱費	20,297	20,000	297
地代家賃	98,154	97,000	1,154
使用料賃借料	127,261	100,000	27,261
支払手数料	6,787	2,000	4,787
諸会費	39,500	40,000	△ 500
支払負担金	75,119	96,000	△ 20,881
減価償却費	30,343	0	30,343
租税公課	1,050	1,000	50
その他経費 計	953,197	844,000	109,197
管理費 計	2,024,996	1,769,000	255,996
経常費用 計	31,494,349	31,745,000	△ 250,651
III 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
経常外費用 計	0	0	0
当期正味財産増減額	162,319	0	162,319
過年度調整正味財産額	0	0	0
前期繰越正味財産額	16,584,526	12,755,592	3,828,934
次期繰越正味財産額	16,746,845	12,755,592	3,991,253

令和3年(2021年)度 貸借対照表
 令和4年(2022年)3月31日現在
 特定非営利活動法人滋賀県難病連絡協議会

(単位:円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金	92,358
預金	61,208,347
未収金	3,240,402
前払金	273,983
流動資産合計	64,815,090
2 固定資産	
(1)有形固定資産	
建物付属設備	111,200
建物付属設備減価償却累計額	△ 94,496
車両運搬具	2,560,076
車両運搬具減価償却累計額	△ 2,560,074
器具備品	562,394
器具備品減価償却累計額	△ 523,267
有形固定資産計	55,833
(2)投資その他の資産	
預託金	8,430
投資その他の資産計	8,430
固定資産合計	64,263
資産合計	64,879,353
II 負債の部	
1 流動負債	
未払金	1,598,866
前受金	0
預り金	46,533,642
流動負債 合計	48,132,508
2 固定負債	
負債合計	0
III 正味財産の部	48,132,508
前期繰越正味財産	16,584,526
過年度調整正味財産額	0
当期正味財産増減額	162,319
正味財産合計	16,746,845
負債及び正味財産合計	64,879,353

令和3年(2021年度) 財産目録
令和4年(2022年)3月31日現在
特定非営利活動法人 滋賀県難病連絡協議会

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	92,358	
預金		
滋賀銀行守山北支店	484,133	
ゆうちょ銀行	1,068,699	
滋賀銀行県庁支店	46,416,118	
滋賀銀行県庁支店	1,570,082	
滋賀銀行栗東支店	8,732,651	
滋賀銀行栗東支店	1,572,091	
滋賀銀行栗東支店	1,257,882	
ゆうちょ銀行	106,691	
未収金		
相談支援受託事業未収金	0	
生活介護就労事業B型事業未収金	2,826,825	
地域活動推進事業補助金	66,000	
RDD助成金	50,000	
保険料	0	
雜収益(コピー代)	297,577	
前払金		
車両費(自動車保険)前払金	273,983	
流動資産 合計		64,815,090
2 固定資産		
(1)有形固定資産		
建物付属設備		
照明器具設備	111,200	
減価償却累計額	△ 94,496	
車両運搬具		
ダイハツ タント	1,344,926	
減価償却累計額	△ 1,344,925	
ダイハツ ムーヴ	1,215,150	
減価償却累計額	△ 1,215,149	
器具備品		
タイルカーペット	121,000	
減価償却累計額	△ 120,999	
エアコンCS284CF-W	183,884	
減価償却累計額	△ 183,883	
エアコンAYF25DM	118,800	
減価償却累計額	△ 110,018	
ノートパソコンPC-VUT25FB6S3R5	138,710	
減価償却累計額	△ 108,367	
有形固定資産 計	55,833	
(2)投資その他の資産		
預託金	8,430	
投資その他の資産計	8,430	
固定資産 合計		64,263
資産 合計		64,879,353
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金		
相談支援受託事業未払金	1,594,244	
水道光熱費	4,622	
前受金		
機関誌広告料	0	
預り金		
源泉所得税	117,786	
送贈金	46,415,856	
流動負債 合計		48,132,508
2 固定負債		
負債 合計		48,132,508
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	16,584,526	
過年度調整正味財産	0	
当期正味財産増減額	162,319	
正味財産 合計		16,746,845
負債及び正味財産合計		64,879,353